

平成 30 年度埼玉県オハイオ州スカラシップ 機会工学インターンシップコース 4 月レポート 「振り返り」

江原 猛

このレポートは日本に帰る飛行機にて書いています。このレポートを書いているうちに昨年の 8 月からこの 9 か月の間に起こった楽しかったことや、つらかったこと、友達と過ごした日々を思い出して、帰国できる安堵感やアメリカを離れる喪失感など色々な感情がこみ上げてきます。4 月は留学最後の月ということもあり、留学を振り返る機会が多くありました。今回はその様子について書いていこうと思います。

The final presentation

4 月の後半に金銭的なご支援とインターンシップをさせて頂いていたニッシンブレイキオハイオへ、9 か月のインターンシップで何をしてどのように会社に貢献したかや、インターンを通して学べたことなどを報告しました。インターンシップのある日は朝も早く、業務も夕方まで続きます。大学の課題を消化しながらインターンシップをするのは容易なことではありませんでした。しかし、職場の方々や監督の方たちも自分の業務があるにも関わらず、親切に機械の使い方からスラングまで色々なことを教えて頂きました。9 か月という一生のうちで考えたらとても短い期間でしたが、これからの長い人生において大きな影響を与えてくれる密度の濃い 9 か月を過ごすことができました。



最終プレゼン後、お世話になった方々と

Presentation to Japanese consulate

デトロイトにある日本領事館にて埼玉親善大使の三人で埼玉県とオハイオ州の関係、OSUS(Ohio Saitama University Scholarship)の背景、そして9か月でやったことや経験したことをプレゼンする機会を頂きました。プレゼンを通して自分たちがやってきたことや得たことを自分自身でも再確認することができました。



プレゼン後領事館にて

Farewell party

日本人交換留学生とフィンドレー大学で日本語を勉強していた学生のお別れ会が開かれました。お別れ会では日本人は英語で、アメリカ人の学生は日本語でスピーチしました。

9か月とはいえほぼ毎日顔を合わせていた友人と別れるのは悲しいですが、いつか日本かアメリカだけでなく世界のどこかで会えると信じてます！



集合写真